

2013年10月24日

お客様 各位

太平洋セメント株式会社

熊谷工場出荷 高炉セメントB種の品質問題について

弊社が2013年10月21日から23日にかけて、熊谷工場より製造・出荷した高炉セメントB種の一部に、混合材である高炉スラグ微粉末が通常より多く混入した可能性があることが判明致しました。

製造記録を検証したところ、当該期間に製造・出荷された製品の一部について、設備トラブルにより、高炉スラグ分量がJIS R 5211(高炉セメント)のB種の規定を超過した可能性があることが判明しております。

高炉スラグ微粉末の過添加の可能性が生じたことを受け、熊谷工場および同工場品を輸送したサービスステーションからの出荷停止、お客様からの当該製品の回収作業を行っております。

なお、熊谷工場からの出荷は、品質管理体制を強化したうえで、10月24日より出荷を再開しております。

また、サービスステーションの出荷再開につきましては、製品の品質に問題がないことを確認したのちに順次行います。

皆様には多大なるご迷惑、ご心配をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。

記

1. 対象製品

製品名:高炉セメントB種(バラセメント, フレコン製品)

※袋製品につきましては、当該期間に製造されたものではありません。

出荷時期:2013年10月21日午後～10月23日 15時頃

出荷基地:熊谷工場(埼玉県熊谷市三ヶ尻5310)

矢板サービスステーション(栃木県矢板市末広町24-4)

友部サービスステーション(茨城県笠間市南友部1966-5)

高崎セメントターミナル(群馬県高崎市東中里町80-1)

2. 当該製品の品質について

現在、詳細な品質試験に着手しておりますが、高炉スラグ微粉末が過添加された場合にはセメント強さの低下が生じる可能性があるものと考えております。

3. 再発防止策

今後、類似トラブルの再発を確実に防ぐよう、設備点検頻度や点検内容の見直しを行い故障の未然防止および早期発見・対応に努めてまいります。

以上